

退院時カンファレンス運用マニュアル

【目的】

退院時カンファレンスは退院だけに焦点を合わせるものではなく、本人・家族、在宅チーム、病院が退院後の生活を持続可能なものにするための生活課題を検討し、退院後も切れ目なく必要な医療・介護サービスが受けられるよう在宅生活に向けた最終調整を行うことを目的とする。

【対象者】

- ① 介護保険など在宅福祉サービスの新規利用者
- ② がん終末期の患者
- ③ 入院前の状態と大きく変わった患者
- ④ その他必要と考えられる患者

【留意事項】

- ① 事前の情報提供のツールとして連携シート「Zai-Takko 三原」を活用しましょう。
- ② 退院時カンファレンスを行う前に、本人・家族の意向を確認し、院内スタッフ間で情報をまとめておきましょう
- ③ 在宅生活を支えるスタッフに広く、積極的に参加を呼びかけましょう。
- ④ 専門用語は使用せず、分かりやすい言葉でゆっくり、はっきり説明しましょう。
- ⑤ 退院時カンファレンスは、あらかじめ設定した時間内に終わるよう時間厳守で行いましょう。
- ⑥ 参加者が発言しやすいよう、和やかな雰囲気づくりを心がけましょう。
- ⑦ 本人・家族が安心して退院後の生活を送ることができるように、必要な情報を共有できるようにしましょう。
- ⑧ 退院時カンファレンスに参加できなかった関連職種とも情報共有をしましょう。
- ⑨ 退院時カンファレンス開催後に状態などに変化があれば、現状について在宅チームへ情報提供しましょう。
- ⑩ 退院時カンファレンスで、ICT（TRITRUS）や緊急時バックアップシステム「安心サポート」の登録についても検討しましょう。
- ⑪ 退院後も医療機関と在宅チームで連携が図れる体制を整えましょう
- ⑫ 退院時カンファレンスと在宅担当者会議を区別して考えましょう。

【退院時カンファレンスの進め方】

◇パターン1（連携シート「Zai-Takko 三原」提供&事前質問あり）

	流れ	発言者	発言内容	所要時間	留意点
1	開会	司会 参加者	・目的と終了時刻の確認 ・自己紹介	2分	
2	入院後の経過説明	主治医 看護師 リハビリ 薬剤師 管理栄養士 など	・事前に情報提供しているため確認が必要なことや確実に伝える必要があることを中心に説明 ・事前質問への回答	6分	簡潔に分かりやすい言葉で。マイナスイメージをさけ、プラス志向の表現で。
3	本人・家族の意向	本人・家族	・退院後の生活への希望や不安なことについて	4分	
4	在宅生活における課題の検討	各担当者	・疾患の管理に関する課題 ・セルフケア能力（運動/口腔/栄養/精神面など）での課題 ・介護負担や環境面での課題	8分	課題解決のための具体的な方法や対策を提示
5	医療・介護・保険サービス提供体制の最終確認	担当 CM	・在宅サービス提供の方針 ・介護サービスの内容	2分	大まかな方針やサービスの概略のみ説明
6	確認事項 閉会	司会 各担当者	・TRITRUS や安心サポートの登録について ・退院までに解決すべき課題の確認 ・退院後訪問指導の必要性について ・退院日時や移送手段の確認	3分	

◇パターン2（連携シート「Zai-takko 三原」提供&事前質問なし）

	流れ	発言者	発言内容	所要時間	留意点
1	開会	司会 参加者	・目的と終了時刻の確認 ・自己紹介	2分	
2	入院後の経過説明	主治医 看護師 リハビリ 薬剤師 管理栄養士 など	・疾患の治療経過や予後 ・疾患管理の注意点 ・入院生活の様子、服薬管理、栄養状態、精神状態など ・ADL、介助方法、留意点など ・薬剤情報、処方の方	8分	簡潔に分かりやすい言葉で。マイナスイメージをさけ、プラス志向の表現で。
3	本人・家族の意向	本人・家族	・退院後の生活への希望や不安なことについて	4分	
4	質問事項および在宅生活における課題について	各担当者	・質問への回答 ・疾患の管理に関する課題 ・セルフケア能力（運動/口腔/栄養/精神面など）での課題 ・介護負担や環境面での課題	10分	課題解決のための具体的な方法や対策を提示
5	医療・介護・保険サービス提供体制の最終確認	担当 CM	・在宅サービス提供の方針 ・介護サービスの内容	2分	大まかな方針やサービスの概略のみ説明
6	確認事項 閉会	各担当者	・TRITRUS や安心サポートの登録について ・退院までに解決すべき課題の確認 ・退院後訪問指導の必要性について ・退院日時や移送手段の確認	3分	